

一般会計歳出の目的別経費

議会費(1.1%) 1億721万8千円
総務費(14.5%) 13億9,464万6千円
民生費(30.5%) 29億3,019万3千円
衛生費(8.3%) 7億9,791万9千円
農林水産業費(3.2%) 3億1,128万9千円
商工費(0.4%) 3,796万5千円
土木費(15.0%) 14億4,608万3千円
消防費(4.2%) 3億9,886万7千円
教育費(15.0%) 14億3,956万1千円
公債費(7.8%) 7億4,744万2千円

- 人件費
町職員給与、町議会議員・各種委員報酬など
- 扶助費
子ども(児童)手当、医療扶助、高齢者扶助など
- 公債費
事業を行うために借り入れたお金の返済金
- 普通建設事業費
道路の整備、公共施設などの建設に要したお金
- 物件費
消耗品、臨時職員賃金、業務委託料など
- 維持補修費
公共施設の維持や修繕などに要したお金
- 補助費等
一部事務組合など各種団体への補助金
- 積立金
各種基金へ積み立てたお金
- 繰出金
各種特別会計へ繰り出したお金

一般会計歳出総額 96億1,118万3千円

人件費	20億1,377万7千円(21.0%)	義務的経費(41.9%)
扶助費	12億5,848万3千円(13.1%)	
公債費	7億4,744万3千円(7.8%)	
普通建設事業費	14億8,223万5千円(15.4%)	投資的経費(15.4%)
物件費	10億0,250万3千円(10.4%)	
維持補修費	1億7,349万円(1.8%)	その他の経費(42.7%)
補助費等	12億3,117万3千円(12.8%)	
積立金	2億1,935万9千円(2.3%)	
繰出金	14億8,272万円(15.4%)	

※単位未満四捨五入のため、グラフ内訳と合計が合わない場合があります。

歳出の決算額・構成比で最も大きいのが人件費で20億1,377万7千円(21.0%)で、次いで繰出金14億8,272万円(15.4%)、普通建設事業費14億8,223万5千円(15.4%)、扶助費12億5,848万3千円(13.1%)、補助費等12億3,117万3千円(12.8%)、物件費10億0,250万3千円(10.4%)、公債費7億4,744万2千円(7.8%)、普通建設事業費14億8,223万5千円(15.4%)、民生費29億3,019万3千円(30.5%)、衛生費7億9,791万9千円(8.3%)、土木費14億4,608万3千円(15.0%)、教育費14億3,956万1千円(15.0%)、消防費3億9,886万7千円(4.2%)、農林水産業費3億1,128万9千円(3.2%)、商工費3,796万5千円(0.4%)、議会費1億721万8千円(1.1%)、総務費13億9,464万6千円(14.5%)などとなりました。次に前年度と比較して増加の大きいものが、子ども手当などの扶助費で4億847万6千円(48.1%)、積立金1億4,196万8千円(183.4%)、人件費1,655万1千円(0.8%)などで、減少の大きいものは普通建設事業費15億1,167万9千円(△50.5%)、補助費等5億2,785万4千円(△30.0%)、維持補修費2,684万4千円(△13.4%)などとなりました。

歳出 独自に調達できるお金(自主財源)は、前年度より5億8,611万3千円(12.0%)の減少となり、全体の42.9%となりました。

それに対し、地方交付税などの国県などの意思決定により町に入ってくるお金(依存財源)も、前年度より8億7,425万7千円(13.2%)の減少で、全体の57.1%となりました。

特別会計	歳入	歳出
土地取得	1,274万円	1,265万7千円
住宅新築資金等貸付	283万9千円	263万円
国民健康保険	37億4,952万9千円	36億6,660万2千円
老人保健	529万8千円	529万8千円
介護保険	20億6,476万2千円	19億4,345万3千円
後期高齢者医療	2億9,420万2千円	2億8,459万3千円
公共下水道	17億9,562万9千円	17億7,855万8千円
農業集落排水事業	8,586万8千円	8,116万6千円

特別会計決算額

益城町には、8つの特別会計と1つの事業会計があります。

水道事業会計

収益的収支	歳入	4億1,866万円
	歳出	3億6,796万7千円
資本的収支	歳入	7,594万5千円
	歳出	3億1,829万5千円